

きゅうしょくだより

令和8年 3月 No. 11
唐津市西部学校給食センター

寒さが和らぎ、春の訪れを感じる3月となりました。この一年間、給食は子どもたちの成長を支える大切な時間として、毎日の学校生活に寄り添ってきました。卒業や進級を控え、生活リズムが変わる時期但也有ありますが、規則正しい食事を心がけ、心も体も健やかに新しい学年を迎えてほしいと思います。

1年間のふりかえりチェック

給食の時間を振り返って、できたものには口にチェックをいれましょう。

☐ 協力して給食の準備を
することができた



☐ 1人分の量をきれいに
盛りつけた



☐ 楽しく会食することが
できた



☐ バランスのよい食事の
とり方がわかった



☐ 地域の地場産物が
わかった



☐ 感謝の気持ちを持って
食べることができた



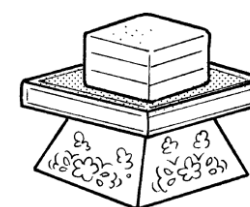
3月3日はひなまつり

「桃の節句」とも言われます。ひな人形を飾る風習は、室町時代頃に始まり、一般に広まったのは、明治時代以降と言われています。それまでは、厄をはらうための紙の人形だったと言われています。桃の節句につくられる行事食には、はまぐりのお吸い物（うしお汁）やひしもち、ちらしずしなどがあります。



ひしもち

ひしもちは、緑、白、赤で重ねられたひし形のお餅です。色にはそれぞれ意味があり、赤は魔除、白は子宝、緑は健康を意味していると言われています。また、白い雪の下に新芽が芽吹き、上には桃の花が咲いているという春の風景を見立てているとも言われています。



うしお汁

はまぐりは、対になっている貝以外とは決して合いません。そのことから、夫婦の仲のよさをあらわすとされています。また、磯遊び（海辺や河原に集まり、草もちや貝料理を食べること）の時期に重なったことから料理に使われたともいわれています。



卒業生の皆さん ご卒業おめでとうございます！

6年間または9年間食べた学校給食には、どんな思い出があるでしょうか。今月が最後の給食になる人も多いと思います。これからは、自分自身で食べるものを選んだり料理したりする機会が増えていきますね。楽しく、充実した生活を送るために、健康はとても大切です。食事ができることに感謝して、自分の健康を守れるような食事をしてくださいね。応援しています。



3月23日（月）で 今年度の給食が終了します。1年間、学校給食の取り組みに深いご理解とご協力いただきましてありがとうございました。来年度も、どうぞよろしくお願いいたします。

